

佐賀大学教育学部附属特別支援学校

佐賀大学教育学部附属特別支援学校第20回 研究発表会

高等部分科会

令和4年1月22日（土）

- 1 年間指導計画における単元の位置づけ
- 2 児童生徒の実態と単元構想
- 3 単元について（指導案から）
- 4 チャレンジグループ
 - ・ 実際の様子と授業改善
 - ・ 個人目標の評価
 - ・ 成果と課題
- 5 スキルアップグループ
 - ・ 実際の様子と授業改善
 - ・ 個人目標の評価
 - ・ 成果と課題
- 6 今後に向けて

1 年間指導計画における単元の位置づけ

年間指導計画

前年度末 次年度の計画を作成

実施年度 年度初めと半期に生徒の実態等に合わせて見直し

高等部の生活単元学習の目標

**「卒業後の社会生活に向け、
意欲的な生活を送る力を育む」**

1 年間指導計画における単元の位置づけ

修学旅行にかかわる生活単元学習

「生活の場が家庭や学校から離れ、生徒自身で実践的に学べる」

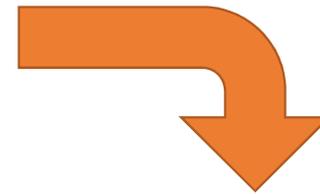
年度当初の年間指導計画（抜粋）

		修学旅行に行こう 18時間
生活単元学習	2年	<ul style="list-style-type: none">・ 佐賀県と大阪府の比較学習・ 旅行の活動計画
	3年	<ul style="list-style-type: none">・ 荷造りの仕方, お小遣いの計画的な使い方・ 電車の乗り方, 公共の場の外国語やきまり, 風呂の入り方, バイキングの食べ方 など

1 年間指導計画における単元の位置づけ

単元の内容

- ① 旅行先でのいろいろな人との接し方，公共の場の利用の仕方。
- ② お小遣いの計画的な使い方，買い物の仕方。
- ③ 旅行の準備や旅行先の地域の学習。



新型コロナの影響で修学旅行が再度延期 ⇒ 目標の再設定

「卒業後の社会参加につながる
実践的な力を身に付ける」

1 年間指導計画における単元の位置づけ

変更後の年間指導計画（抜粋）

生活単元学習	2年	将来の生活と余暇について考えよう (7時間)	買い物の仕方や計画的なお金の使い方を練習しよう (11時間)
	3年	<ul style="list-style-type: none">健康管理と余暇公共の乗り物の利用の方法自分たちの住む県の位置と主な都道府県相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを話す	<ul style="list-style-type: none">買い物の一連の手順の理解計画的な金銭管理の理解2～4位数の金額の大小の比較,お小遣い帳の記入必要なことを伝える、考えをまとめる

2 生徒の実態と単元構想

アンケート結果より

- お小遣いをもらっている・・・10名（15名中）
その内、お小遣いを定期的にもらっている・・・6名
- 貯金をしている・・・・・・・・・・2名（6名中）
- 小遣い帳をつけている・・・・・・・・0名（6名中）
- 買い物が一人でできる・・・・・・・・4名（15名中）
- 買い物の一部に支援を必要とする・・・11名（15名中）

今までの買い物学習の様子から

- 使う用途や使い切れる量を考えて買うことが難しい。
- 自分の買いたい商品を選ぶことが難しい。

3 生徒の実態と単元構想

生徒の実態，アンケート等からわかった生徒の一人一人の課題から，次のような力を身に付けていくことが必要ではないかと考えました。

買い物に関わる
一連の手順を理
解し，行動でき
る力

商品を選
ぶ力

伝える力

お金を計
画的に使う力

買
い物を
楽しむ力

3 生徒の実態と単元構想

2つの学習グループの設定

チャレンジグループ	スキルアップグループ
<p data-bbox="107 603 1021 746"><u>買い物をすることに支援を必要とする生徒たち</u></p> <p data-bbox="107 916 439 970">学習を通して</p> <p data-bbox="107 1054 1055 1241">一人で、もしくは、一部支援を受けて買い物できるようになるのではないだろうか。</p>	<p data-bbox="1093 603 2074 826"><u>将来の生活において、仕事をして収入を得ることが予想される生徒たち</u></p> <p data-bbox="1093 906 1424 960">学習を通して</p> <p data-bbox="1093 1040 2123 1168">将来の生活において、給料等を計画的に使うことにつながるのではないだろうか。</p>

単元目標

- 買い物に関わる一連の手順を理解し，一人，もしくは一部支援を受けながら買い物をしたり，決まった予算の中から，日常生活に必要なものを価格や品質を比較しながら，買ったりする。（家庭）
- 2～4位数の金額の大小の比較や計算機での計算の結果から，予算内で買えるか判断したり，レシートを見て，お小遣い帳に収支と残金の記入をしたりする。（数学）
- 伝える相手や話す目的を意識して，自分の伝えたいことを明確に話したり，聞いたことを書き留めたり，分からないことを聞き返したりする。（国語）

3 単元について

単元計画

時	日時	学習活動		指導内容
		スキルアップグループ	チャレンジグループ	
1～3	9月13日 (月)	○これからの学習を知り，目標別にグループに分かれる。		家庭 数学 国語
		○家庭でのくらしに必要な日用品について考える。	○買い物の仕方を知る。	
4～5	9月14日 (火)	○コンビニエンスストアと家電量販店に行き，品揃えと値段を調べる。	○買い物の仕方を復習する。 ○先生と一緒に買い物をする。 ○お小遣い帳をつける。	家庭 数学 国語
6～7	9月16日 (木)	○コンビニエンスストアと家電量販店に行き，品揃えと値段を調べる。 ○買い物の計画を立てる。	○買い物の仕方を確認する。 ○一人で買い物をする。 ○お小遣い帳をつける。	家庭 数学 国語
8～9 (研究授業)	9月21日 (火)	○実際に買ってみる。	○買い物の仕方を確認する。 ○一人で買い物をやり遂げる。 ○お小遣い帳をつける。	家庭 数学 国語
10～11	9月24日 (金)	○学習をふりかえる。	○学習をふりかえる。	家庭 数学 国語

〈生徒の実態〉

買い物において、支援を必要としているが、
繰り返しの学習により、一人で買い物できることや買い物の楽しさに気づくことが、期待できる生徒たち

買い物の
スキルの獲得

自信をもって
楽しく
買い物が
できること

現在及び将来
の
充実した
余暇活動

手立てのポイント

わかりやすく学ぶために

店内が狭く，レジの位置，商品の位置などが
わかりやすい

**コンビニエンスストア
での買い物**

自信をもって学ぶために

模擬買い物練習4回，
実際の店舗での買い物を3回実施する

繰り返しの学習

第2時，第3時の学習活動

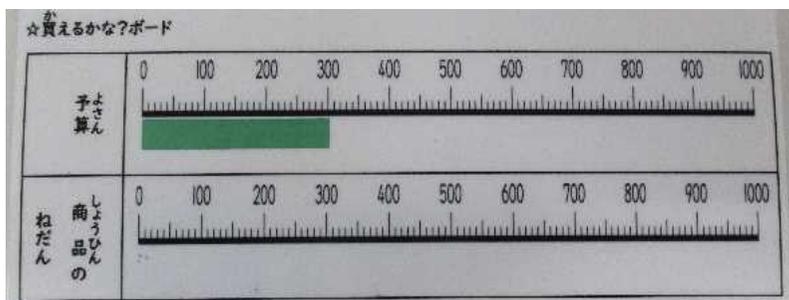
1. 学習の流れと目標を知る。
2. コンビニエンスストアで売っているものを知る。
3. 値札の見方を知る。
4. 予算と買いたい物の値段を比較する方法を知る。
5. 買い物の手順を知る。
(模擬買い物を通して，手順，セルフレジの使い方，レジでの言葉の練習)

4 チャレンジグループ

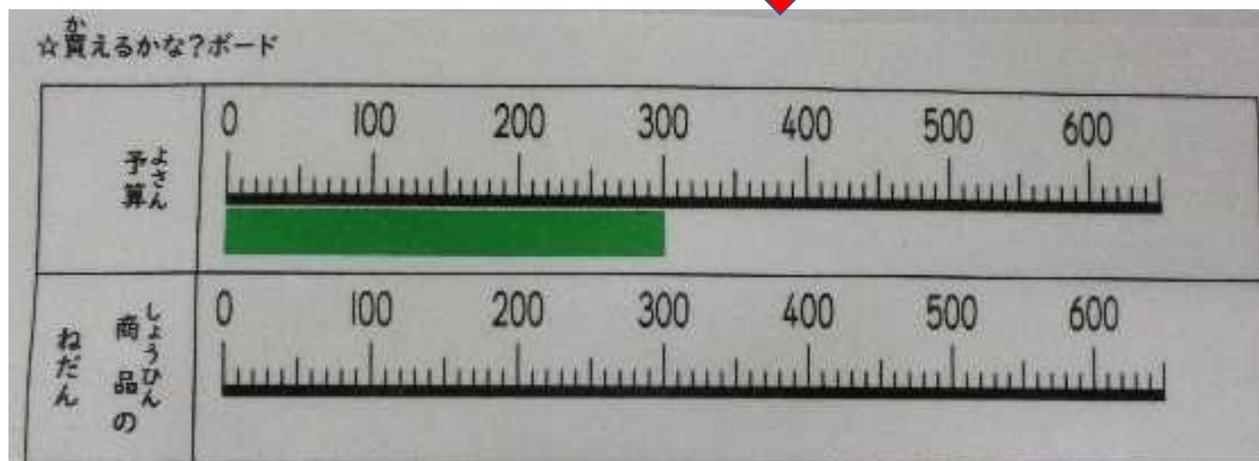
実際の様子と授業改善

第2時, 第3時の学習活動

4. 予算と買いたい物の値段を比較する方法を知る。



授業改善



4 チャレンジグループ

実際の様子と授業改善

第2時, 第3時の学習活動

5. 買い物の手順を知る。
(模擬買い物を通して, 手順, セルフレジの使い方, レジでの言葉の練習)



第4時，第5時の学習活動

1. 教室で模擬買い物をして，練習する（一つ選んで買う練習）
2. コンビニエンスストアへ買い物へ行き，好きなものを1つで選んで買う。
3. 学校に帰り，レシートを見て，お小遣い帳を書く。

第4時, 第5時の学習活動

2. コンビニエンスストアへ買い物へ行き, 好きなものを1つで選んで買う。

きまり

一つ買う

300円の予算
を超えることが
ない

値段を見て買う様子は, ほとんどみられなかった。

第4時，第5時の学習活動

2. コンビニエンスストアへ買い物へ行き，好きなものを1つで選んで買う。

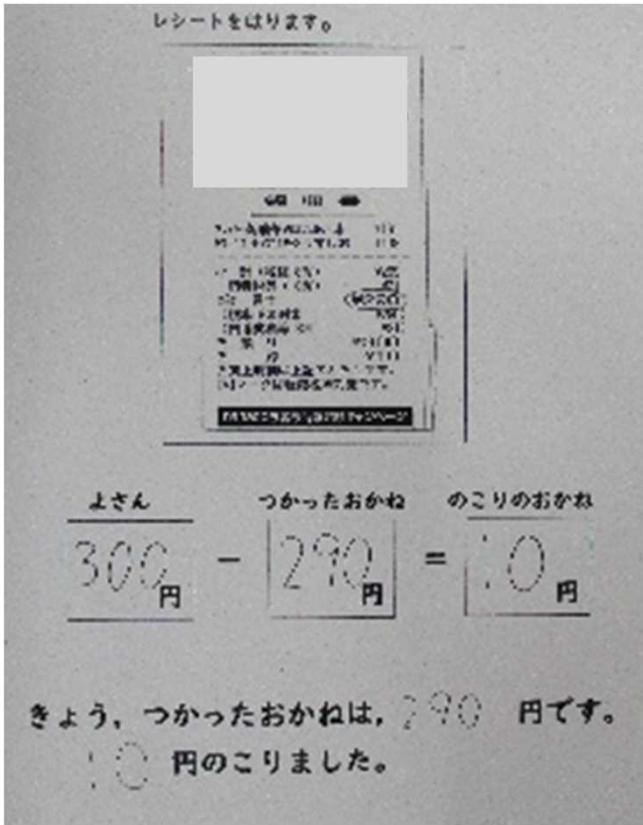
授業改善

- ・当初の計画通り，次回は，2つ選んで，買い物をする。
- ・数直線ボードの活用の仕方を教室での模擬買い物でも，練習する。

実際の様子と授業改善

第4時，第5時の学習活動

3. 学校に帰り，レシートを見て，お小遣い帳を書く。



第6時，第7時の学習活動

1. 教室で模擬買い物をして，練習する。
(300円以内で2つ選んで買う練習)
2. コンビニエンスストアへ買い物へ行き，好きなものを2つで選んで買う。
3. 学校に帰り，レシートを見て，お小遣い帳を書く。

第6時，第7時の学習活動

1. 教室で模擬買い物をして，練習する。
(300円以内で2つ選んで買う練習)

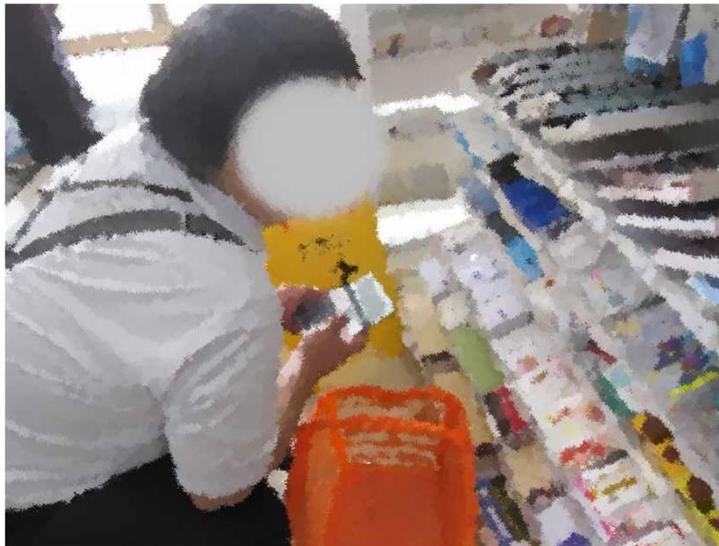


5 チャレンジグループ

実際の様子と授業改善

第6時，第7時の学習活動

2. コンビニエンスストアへ買い物へ行き，好きなものを2つで選んで買う。



第6時，第7時の学習活動

< 課 題 >

模擬買い物において，300円以内で収まる商品2つを選ぶことに時間がかかっていた。

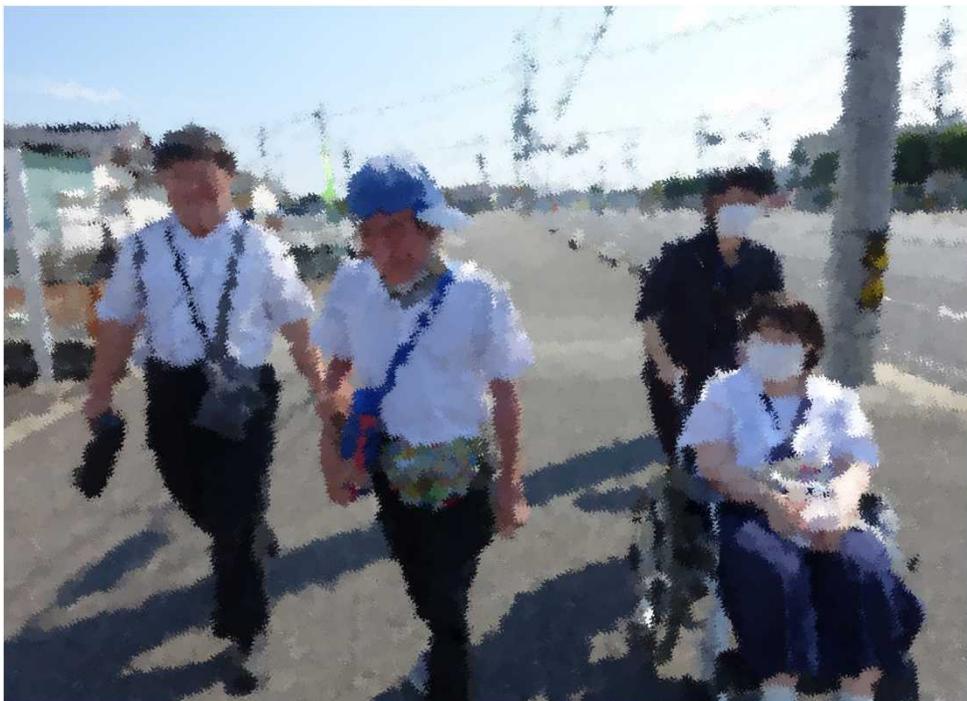
授業改善

- ・ 模擬買い物で使う商品の値段を一部下げ，50円程度の商品を増やす。
→合計300円以内という状況が生まれやすいようにした。

第6, 7時と同様の学習活動を実施



第8時, 第9時の学習活動



【買い物の仕方】生徒の行動やレジでの言葉に、慣れた様子が見られた。ほとんどの生徒が1人で、セルフレジで支払いをすることができた。

【予算との比較】数直線ボードの意味の理解が進み、選んだ2つの商品が、300円以内に収まるまでが早くなった。

【お小遣い帳】
前回よりも、少しレシートの読み取りができるようになった生徒がいた。

4 チャレンジグループ

実際の様子と授業改善

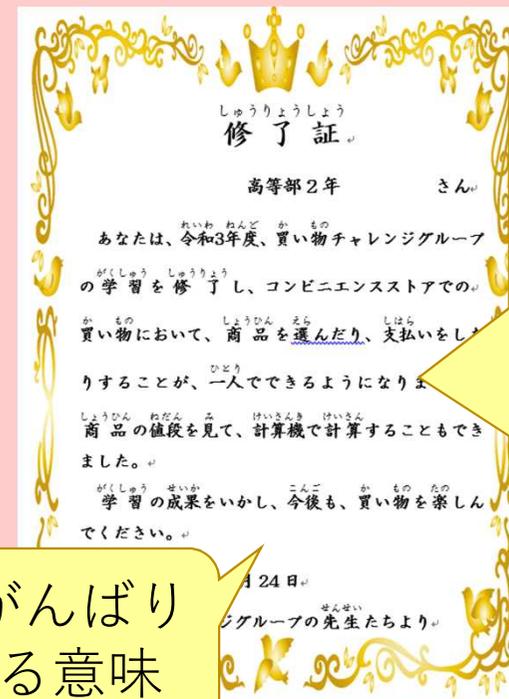
ワークシートと動画による
ふりかえり

これからは、一人で
買い物をしたいですか？

はい！



修了証を受け取り、自分の
学習の成果を確認する。



保護者の方と、
生徒の成長を
共有し、学習
の成果を家庭
生活にもいか
してほしいと
いう願い

本人のがんばり
をほめる意味

チャレンジグループ 生徒t (家庭中1段階)

①買い物に係る一連の手順を自分から質問しながら、購入する。

ア (知識・技能)	支払いから金銭の受け渡しまでの買い物の一連動作は回数を重ねるごとに習得することができた。
イ (思考力・判断力・表現力)	レジ袋が必要か不必要なのかを考えて、店員さんに「いりません。」と伝えることができた。
ウ (主体的に取り組む態度)	買い物の金額の過不足が分からない場合は教師に質問することができた。

チャレンジグループ 生徒t (数学中1段階)

②値札やレシートの3位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入する。

ア (知識・技能)	合計金額の把握が難しかったが、3の位だけに焦点をあて、2の数字になると購入できることは理解できた。
イ (思考力・判断力・表現力)	金額が3位数になり、計算が難しくなると自発的に計算機を使って計算できた。
ウ (主体的に取り組む態度)	レシートに蛍光ペンで印をつけて、お小遣い帳にも同色をつけることで金額を書く場所を覚えて自分で記入することができた。

チャレンジグループ 生徒t (国語 中1段階)

③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え，挨拶をする。	
ア (知識・技能)	買い物で使う文言を練習することで買い物の場面で丁寧な言葉遣いで話すことができた。
イ (思考力・判断力・表現力)	会話の受け答えはゆっくりではあるが，言葉を考えて店員さんにレジ袋の有無を伝えることができた。
ウ (主体的に取り組む態度)	自分から店員さんに「お願いします。」と丁寧に挨拶することができた。

繰り返しの学習により

買い物に関する知識・技能の確かな学びにつながった。主体的な行動も見られるようになり、レジでの支払い動作については、ほとんどの生徒が一人でできるようになった。

数直線ボードの活用により、

3位数の大小の理解が難しい生徒も、買いたい物の合計金額が、予算内に入るかどうか考えることができた。また、値札をよく見て、自発的に計算機で計算する姿が見られた。

レジでのやり取りを繰り返し練習したことで、

必要なことを伝えたり、わからないことを質問したり、丁寧な言葉遣いで話したりする生徒の姿がみられるようになった。

1. 自分で予算内に収める手立ての一つ「数直線ボード」は、生徒が1人で扱うことが難しく、教師の支援が必要。

今後、生徒達が自立的な買い物を目指すためには、補助具など教材の工夫や、数学の時間の指導と連携しての指導を通して、概念形成を図っていくことが大切である。

2. 今回の単元の学習でできるようになったことを、保護者と共有し、生徒の実際の生活においても生かされていくことが重要であり、将来の生活につながると考える。